

COMPASS そがわ

令和5年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	5		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	5		基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は全員有資格者です。	
	3		5	玄関付近、勝手口はバリアフリーではありませんので、転倒、ケガのないように注意しております。室内はフラットになっております。	トイレは建物の造りの関係上、車いすが入ることは難しくなっております。玄関に1箇所段差がありますが、今後はスロープを設置するなど検討してまいります。現在、該当の児童はおりませんが支援が必要な児童の受け入れの際には、協議のうえ安全面には十分配慮してまいります。
業務改善	4	5		日常のミーティングやフレクシオン会議等で常勤・非常勤を問わず情報共有や話し合いを行い、現状把握と改善点を討議しております。	
	5	5		昨年度開所し、今年度より事業所内、保護者様にアンケートを実施いたします。	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげてまいります。
	6	5		COMPASS そがわは、今年度より COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開いたします。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	5		年間予定を立て、定期的に事業所内外での職員研修をおこなっております。	
適切な支援の提供	9	5		アセスメントから児童や保護者様のニーズに寄り添い、適切な計画を作成しております。	
	10	5		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況を把握し療育に繋げております。	
	11	5		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性を加味しながら、全職員で話し合い立案しております。	
	12	5		季節ごとの行事、イベントを工夫しながらおこなっております。	
	13	5		休日や長期休暇中は児童の利用時間に合わせ、制作やお祭り等のイベントを工夫しながら支援しております。今年の夏休みより外出や水遊び、簡単な調理なども計画し、児童も楽しく参加しているようです。	
	14	5		児童の特性、保護者様のニーズ、活動時間に応じて個別活動と集団活動を組み合わせしております。	
	15	5		当日の予定、支援内容を話し合う時間を設け確認しております。	
	16	5		支援終了後には、現場にいる職員で振り返り等をおこなっております。送迎等で不在の職員には翌朝の打ち合わせや職員の連絡ノートを活用して情報を共有し、児童の様子や反応、支援の方向性について周知、共有しております。	
	17	5		支援内容だけでなく、その日の児童の様子など正確に記録することを徹底しており、次の支援担当者への申し送りや職員間での共有を図りながら、支援の最善に努めております。	
18	5		半年ごとに必ずモニタリングを実施し、児童の状況や保護者様のニーズを把握、分析し、計画を作成しております。		
19	5		ガイドラインに沿って、児童一人ひとりに合わせた基本の活動を取り入れ支援をおこなっております。		
関係機関や保護者様との連携	20	5		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	21	5		送迎時に行事予定やその日の様子、体調など情報交換をおこなっております。また、送迎時間の変更なども事前に連絡、確認しております。	
	22	5		現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	2	3	社内で標準化され共有しているアセスメントツールを使用して就学前の情報共有に努めてまいります。	就学を機に利用開始の児童については相談員や保護者様から情報収集しアセスメントの作成、また関係機関とは移行シート等により児童の特性、状態、支援内容、今後の課題等の相互理解に努めてまいります。
	24	5		現在該当する児童は在籍しておりません。	今後、学校を卒業する児童が移行することになった場合、保護者様の確認を得て、支援内容等の情報提供をしてまいります。
	25	5		児童発達支援センターや専門機関と連携し、見学、研修、助言を受けております。	
	26	5		コロナ禍により交流はできておりませんでした。	共生社会の実現に向けた後方支援、児童の社会参加や、他の児童も含めた集団の中での成長を支援できるよう、学童や児童館など一般的な支援施設等とも連携しながら、専門的なバックアップをおこなってまいります。
	27	5		コロナ禍により参加はできておりませんでした。	感染症予防の観点から参加は自粛させていただいておりますが、今後の課題として検討してまいります。
	28	5		日頃から保護者様との情報交換に努め、連携を図っております。随時その情報を職員同士が共有・更新できるよう報告し合い、記録するなど把握に努めております。	
保護者様への説明責任等	29	5		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	30	5		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を行っております。また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。	
	31	5		保護者様がお悩み、お困りごとを相談しやすい雰囲気作りを努め、送迎時などにご家庭との連携を取る中で、日頃からさまざまなお話しに親身に応じるよう心がけております。	
	32	5		コロナ禍により交流はできておりませんでした。	感染症予防の観点から積極的な開催は自粛しておりますが、保護者様のご要望があれば検討してまいります。
	33	5		苦情受付窓口と責任者を設け、重要事項説明書に明記しております。保護者様からのご意見、苦情にはその日のうちに職員間で話し合い改善策を保護者様にご提案しております。	
	34	5		定期的に「COMPASS だより」を発行し、YouTube、公式 web サイトのブログで事業所の活動内容を紹介しております。また連絡帳のカレンダーの裏面をおとして、イベントや避難訓練等の様子を写真を交えながらお知らせしております。	
	35	5		個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いに十分注意している。	
	36	5		常に良い関係が築けるように、伝え方、言葉や手段の選択にも最大限の配慮をおこなっております。	
	37	5		事業所内に招待するイベントは行っておりませんが敷地内の大家さんとの交流（手紙交換・野菜栽培・手作りおやつの差し入れ）を行っています。	感染症予防、防犯対策の観点から施設への招待は行っていませんが、地域の方々やボランティア団体との連携、および協力をおこなうなど交流に努めてまいります。
非常時等の対応	38	7		各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。	
	39	5		避難訓練は年間計画を立て、児童も参加して定期的に実施しております。訓練の様子は次の月の連絡帳カレンダーで紹介しております。	
	40	5		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修を実施し認識を深めております。	
	41	5		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要となる場合については、事前に十分に説明し保護者様の承諾を得て支援計画に記載しております。	
	42	5		指示書がある児童については保護者様と情報共有を行い、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	43	5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	ヒヤリハットミーティングを徹底し、紙面に残して回覧し周知ミーティングを行いながら再発防止に努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。